

平成 25 年 3 月 20 日

3 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調で、入荷も平年並み。2 月は記録的寒波により、製材工場は丸太凍結で生産性が低下し、荷動きへの影響が長引く。スギは柱・中目材とも引合い好転。ヒノキは柱材の引合い強く、低調だった中目材も回復の様相。製品価格は値上がりしているものの、原木への波及は鈍く、スギは柱・中目材ともに横這い。ヒノキは柱・中目材とも強保合で小幅な値上がり。群馬の製材工場の操業状況は、3 月に入り若干上向きだが水準低い。原木の入荷はスギ中目材が品薄。原木在庫はやや少ない。受注・販売とも依然低水準。外材高騰でも手当て意欲は低い。国有林材の終了で原木市場は出品少なく、無いもの高で価格のみ上昇。

2. 米材

1 月の米国新設住宅着工は、前月比 8.5%減の年率 89 万戸で、前年同月比で 23.6%の増。米国丸太の価格は、前月同様住宅需要回復に伴う丸太需要の増加と中国の買いの継続により強含み。カナダ丸太も同様に、オールド、セカンドともに強含み。産地の港頭在庫は、出庫が順調で 2 月末は減少の様相。ウェアハウザー社の 3 月積み米マツ IS ソートは前月比 30 \$ アップ。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這い。国内大型港湾製材工場の荷動きは、RW 集成平角の強含みと産地丸太の上昇を踏まえ 2 月も好調。内陸部製材工場の荷動きは引続き低調。製材品の TLT(東京木材埠頭) 2 月入荷量は 76.5 千 m³で、前月比 19%減。出荷量は 81.3 千 m³で同 4%増、在庫は同 4%減。産地情勢は、冬場の原木不足が深刻化しつつあり、春の到来待ち。産地価格は、R L 誌指標価格が 400 \$ を突破。J グレードも史上最高値を目指す展開。旺盛な需要に支えられ、当面更なる値上げもありえる見込。冬場の不需求期にもかかわらず、先高感があり、荷動きは堅調。当面大きな落込みも無く継続する見込。

3. 南洋材

サバは、旧正月は明けたが、天候悪化のため相変わらず原木の出材は悪く、製

材工場の稼働も低調。欧州市場の低迷が長引き、多くの製材工場が採算割れにより、製材規模を大幅に縮小。このため暫くは出荷減が続く模様。サラワクもサバ同様に出材は低調。原木高や人件費高騰は変わらず、バイヤーの値下げ要求に応えられない状況で、出荷量は減少傾向。PNG・ソロモンは消費国からの引合い悪く、出材・価格ともに低迷。南洋材丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫は減少。原木の販売は合板用、製材用とも変わらず。製材品は無垢材・集成材ともに、市況の先行き不透明な中で、春需に備え買い入れは旺盛で、相場は強含み。

4. 北洋材

ロシア極東は天候が安定し出材は順調だが、ワニノ港が鉄鋼系会社を買収され、木材積み出しバースは大幅減少。今後ナホトカやソフバガニを使用する予定だが、バースが少なく極東材供給に影響確実。シベリア地方は輸出枠の発給問題は解消されたが、その余波が残り、昨年同期比で50%程度の出材状況。富山新港の2月丸太入荷量は10千 m^3 （エゾマツ6千 m^3 、カラマツ1千 m^3 、アカマツ3千 m^3 ）、製品は7千 m^3 。価格動向は、丸太・製材品とも入荷不足と急激な円安で強含み続く。国内挽き製材品も原版価格が値上がり。荷動きは丸太、製材品とも順調。在庫状況は0.5ヶ月位で変わらず。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼働状況は原木入荷減少で生産調整。

5. 合板

米材丸太は米国の住宅着工増加の影響で強含み、南洋材は雨季で伐採が厳しく価格も強含み。1月の国内合板生産量21.4万 m^3 のうち、針葉樹合板は19.6万 m^3 。需要を考えるともう少し生産したいところだが、現地は寒気により生産効率が悪化。出荷量は22.0万 m^3 と高水準で在庫量も14.3万 m^3 まで減少。販売価格は強気での推移は変わらないが、天井が見えてきたとの見方も強い。国産針葉樹合板は昨年から物流の停滞が長期化し混乱が続いているが、実需か仮需かわからなくなっている状況。価格面では需要に引っ張られ強含み。輸入合板は入船遅れでタイトな状況。為替変動による先高感も加わり、12mm品を中心に玉の確保が困難。現地の原木不足は深刻で、どこも生産激減の状態です。今後の入荷や価格に影響を及ぼすことは必至。先行きは針葉樹合板の流通混乱が1ヶ月で程度で収まり、価格も安定するとの見方。輸入合板は荷動き好調で価格は強気の見通し。流通在庫は針葉樹合板は地域によってまちまち、輸入合板は12mm中心に少ない。

6. 構造用集成材

原料・ラミナの集荷は概ね良好。現地積みは、昨年12月積み丸太量が減少したため若干の遅れ。価格は上昇中で、4月～6月積みはCIF35,000円/m³を超える見通し。現地欧州サイドが日本市場で利益を得ようと上げに入っている。国産集成材は受注・販売・荷動きいづれも良好。在庫は極めて少ない。輸入集成材は昨年並みの輸入量が予想されるが、日本マーケットの価格上昇を見込み、今年後半は生産増の可能性。特記事項として依然欧州産集成材の品薄が続き、価格は高騰が続く。集成材以外でも2×4根太、米マツKD桁、ヒノキ柱が値上げ傾向。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、地域差があるものの前月に比べ小動き。WW集成材の不足からスギ柱材にシフトし品薄感。造作材は、不需要期にもかかわらず、スギ、ヒノキの引合い増え、暫くこの状態が続く模様。外材の構造材は、米ツガ、米ヒバに品薄感なく、実需に乏しく動き悪い。WW管柱、RW集成梁は、入荷薄く欠品もあり対応が困難。造作材はスプルー、ピーラー、米ヒバに依然良材少なく、対応困難が続く。販売状況は、当用買いが続く中で、外材の値上がりと寒波による東北材の入荷減で、様子見のため来場者が微増。春需や消費税の駆け込み需要に期待はあるが、材の品薄や価格の値上げが今後どう推移するか見極め必要。

8. 小売

国産材の構造材はスギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いづれも保合。外材は米ツガKD平割、正角、ロシアアカマツ垂木ともに強保合、WW間柱も強保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも強保合。合板は針葉樹、ラワンともに強保合。床板、フローアは低価格品が4月以降値上げ。プレカット工場の動向は、一部メーカーが4月納入分20%アップ、見積額は平均10%程度値上がり。リフォーム、新築は昨年比で増加しているが、合板等の値上げが急速で、見積価格が追いつかない状況。在庫の手配はするものの、入荷少なく暫くは厳しい状況が続く。

3月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↗
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↗	
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ カスケード(カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↗
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	-
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↑
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↑
			スギ 無化粧	↑
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗